

令和7年度第2回銚子市子ども・子育て会議(令和8年2月13日開催)

議題(4)「公立保育所再編について」に対する意見書集約

NO	問1 公立保育所の再編は必要だと思いますか。	問2 再編が必要(必要ない)と思う理由は何ですか。(自由記述)	問3 その他、再編に関する意見をご自由にお書きください。(自由記述)
1	必要である	現状の利用者のニーズと施設の老朽化を考えれば再編方針の方向性は適正と考えます。	子どもを増やしていく施策も必要ではないかと思えます。
2	必要である	銚子市の出生数が年々減少していることから、自ずと就学前に保育園を利用する人数は減ります。公立保育所建物の老朽化と児童の減少を合わせて考えたら、銚子市公立保育所再編方針(案)の再編方針概要は良いと考えます。	銚子市は魅力のある町です。海があり、緑も多くの子育てを希望するなら間違いなくおすすめできる町であると思えます。また、それにプラスして子育てや生活に安心できる町になれば、若い世代が戻ってくるのではないかと期待しています。実際、平成8年度に出生した年代の若者は、銚子市に戻ってきている方が多いです。再編にあたり、病児保育、医療的ケア児受入れなどの新たなサービスは必要かと思えますが、もうひとつ何か銚子市にしかないサービスがあると良いかなと思えます。
3	必要である	児童数の減少と公立保育所の入所児童数を考えると公立保育所は1つでよい。	再編となると、どうしても「児童数の減少」や「経費の負担」などの負のイメージが強くなってしまふ。再編することでより良くなる面を強く出せるとよい。例えば、「配慮を要する児童の受入れ」などより具体的にイメージできるような対応があるとよい。
4	必要である		
5	必要ない	少子化だが配慮を必要とする児童、家庭は常に一定数おり、公立保育所での支援を依頼することが多いため。	子どもの数など数の評価は大切であり、運営等の厳しさはあるかもしれないが、子育て支援の充実を考えると、少子化だからこそ保育所の選択肢は減らさない方がよい。保育所は子育て支援においてとても重要であるため、保育所に関して充実させる方向で検討されるとよい。
6	必要である	施設の老朽化と定員の見直し、保育士数、公立保育所の在り方など、総合的に見直す機会になると思う。 定員は120人が妥当なのか、1年ごとに見直していくのか確認したい。	新築となると民間保育所の経営状況が厳しい中、公立保育所に人気が集まってしまうため、改修がよいと思う。公立保育所がなくなってしまうのは反対。どちらもあって選べる今の現状が保護者、子どもたちにとっても望ましい。お互いの良いところを認め合って一人ひとりの子どもたちの健やかな成長に期待したい。
7	必要ない	保護者が勤務地への通勤するにあたって第二保育所と第四保育所の立地条件が適切ではないか。 資格や知識のある女性の就職先が銚子市内で減っており、人口減少に繋がっているのではないか。	
8	必要である	現在における銚子市の人口減少と、それに伴う児童数の減少傾向は、今後も続くと考えられることから、銚子市の公立保育所機能を十二分に機能させるためには、施設を統合し、市の人的資源、物的資源を最も効果的に活用できるように再編する必要があると考える。	(1)二つの保育所を一つに統合する際には、現行の老朽化した施設の影響や制限を受けることのない施設的设计、建築工事を施工するため、保育所施設を新築すること。 (2)新たな保育所施設は、保護者の施設へのアクセスも考慮した設計とすること。 (3)新たな保育所施設には、保育士、調理員、栄養士、事務職員等の人員は、十分な人数の常勤職員を配置すること。 (4)新たな保育所施設には、保育士が専門職として職務に専念できるように事務職員、清掃員、用務員等を配置すること。
9	必要である	子どもの人数が減少し、子どもも親の働き方も多様化してきている今、これまでどおりでは子育て世帯が必要としていることに対応が難しいのではないかと思います。 ただ単に保育園の数を減らすのではなく、保育園を統合し、発達支援センターを増やすなど、必要な人が通える環境を整えていただけたらよいなと思えます。	飯沼幼稚園が令和8年度の年少の入園を取りやめました。まだ小さい兄弟がいたり、家庭の事情で専業主婦の家庭では保育園には通わせられず、入園先の選択肢が市内では認定こども園の銚子幼稚園のみとなりました。 働いている、働いていない、子どもの発達等に関わらず、子どもが少ないからこそ、必要な支援・教育を必要な人が受けられる銚子市になってほしいと思えます。